

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	1番 緒方 重則議員	20分	1 市の活性化対策について	来春、九州新幹線鹿児島ルート of 全線開業を控え、今後、市として取り組む計画があれば伺いたい。	市長	

平成 22 年第 3 回定例会一般質問

平成 22 年 9 月 14 日・15 日・16 日

(20枚のうち2枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	13番 福本千枝子議員	40分	1 伊佐市シルバー人材センターについて	平成9年4月に「大口菱刈広域シルバー人材センター」が設立され、伊佐市の誕生により「伊佐市シルバー人材センター」となった。庭木の剪定、除草などの一般作業、福祉関係では学童保育、高齢者の脳トレ、家事援助、配食サービス、見守り事業、また体育施設や大口温泉高熊荘の管理など、多岐にわたり、生きがいや健康づくりも目的に活動されている。しかし、設立から14年目を迎え、プレハブの事務所・作業場がシロアリや老朽化で腐食し、大変危険な建物であり、議会にも要望があった。 市長としては、今後どのような支援を考えておられるか伺いたい。	市長	
			2 女性特有のがん対策について	1 本年度も子宮がんと乳がんの検診が実施されたが、昨年と比べ受診率はどうだったのか。また罹患者数は何人だったのか伺いたい。 2 乳がんについて、自己検診が一番とされるが、なかなか実行されない。現在本市では2年に1回の検診であるが、毎年できないか伺いたい。 3 子宮頸がんも女性特有のがんでは乳がんに次いで第2位を占めている。特に20代～30代で発症するがんの中で第1位となっている。国もワクチン接種に本腰を入れるようだが、本市でもいち早く取り組めないか市長の考えを伺いたい。	市長	関係課長

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち3枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	6番 畑中 香子議員	40分	1 地上デジタル放送完全移行に伴う問題について	1 生活弱者世帯への移行経費負担の軽減対策をおこなうべきではないか。 2 難視聴区域解消がどの程度すすんでいるか。 3 高齢者世帯などへの周知をどのようにおこなうのか。また、相談窓口を設けられないか。	市長	
			2 田中保育所の民営化に伴う職員の身分について	1 資格・経験を活かした部署への配属が考えられないか。	市長	
			3 免税軽油制度について	1 免税軽油制度の周知をはかるべきではないか。 2 事務手続きなど面倒で困難な場合に、援助するべきではないか。	市長	
			4 水俣病について	1 市内に未認定の患者が相当いるのではないかと考えられるが、特措法の施行にともない、周知、患者の掘り起こしをはかるべきではないか。	市長	
			5 教室へのストーブ設置について	1 小・中学校の教室にストーブを設置して、冬でも学習に専念できる環境に改善するべきではないか。	市長	

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち4枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	20番 岩元 克頼議員	30分	1 事業仕分けについて	1 本市の各事務事業について、本格的な事業仕分けを行う必要があると考えるが、見解を示されたい。 2 事業仕分けの実施方法について、具体的にどのようなことが重要と考えるか示されたい。	市長	
			2 伊佐市定住促進空き家活性化事業等について	1 定住促進策として、伊佐市定住促進空き家活性化事業が実施されているが、移住者が住居を新築して伊佐市に定住する場合の支援措置はない。また、品質確保法が施行されてから、家を新築する前には地盤調査を行い、その結果次第では、パイルやコンクリート流し込みにより、地盤強化を図る必要があるなど、思わぬ経費がかかる場合がある。これらの住居を新築して移住する人に対する支援措置がないと、同じ移住者との均衡を欠くことになるかと考えるが、どうするか。 2 新築の家に移住する場合、仮に1,500万円の家を建てたとすれば、10年間でどの程度の固定資産税を納めることになるか。	市長	
			3 県下一周駅伝選手のバックアップについて	1 県下一周駅伝や女子駅伝選手の確保や育成が困難になり、今後の出場が心配されている。行政としては、どうバックアップするか伺いたい。	市長 教育委員長	

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち5枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	5番 諏訪 信一議員	20分	1 自殺予防対策について	<p>平成18年6月に自殺対策基本法が制定され、伊佐市も22年度地域自殺対策強化基金を活用し、自殺予防に向けた取り組みがなされているかと思えます。</p> <p>平成21年第4回定例会で健康増進計画の中の一つとして位置付けて、心の健康づくりによる自殺予防対策、啓発に取り組み、予防の為のパンフレット作成、配付、広報、講演会などの開催を計画していますと、答弁されています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現在の活動状況とその具体的な取り組みについて伺いたい。 2 医療機関との連携はどうなっているか。 3 患者や家族へのケア対策はどうなっているか。 	市長	関係課長

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち6枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	2番 松元正議員	20分	1 伊佐市の活性化 ー財政ーについて	<p>1 財団法人関西社会経済研究所（所長：本間正明）は、8月12日自治体の財政健全性に関する、調査結果の概要を発表しました。伊佐市における財政運営の健全性および効率性は、どうなっているか。</p> <p>2 旧大口市では労働コストが高いと関西社会経済研究所の「自治体行政の生産性に関する研究結果」にあるが、どのように受け止めているか。</p> <p>3 地方交付税にたよっている多くの地方自治体が、自主財源をいかに増やすか創意工夫している。伊佐市ではどのように考えているか。</p>	市長	

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち7枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	18番 古城 恵人議員	40分	1 有害鳥獣対策について	<p>西太良地区でも、田植え直後からシカによる苗の食害が頻発し、水稲の成長に伴いイノシシの水田荒らしが例年以上に多い。</p> <p>一方、カボチャ畑でも収穫前のカボチャが食い荒らされるなど農家は対応策に頭をかかえている状況だ。秋の取入れを控え有害鳥獣対策の取り組みは万全か。有害鳥獣対策の取り組みの現状と問題点及び課題について伺いたい。</p>	市長	
			2 建設業の振興に具体的な対応策の手は打たれているか。	<p>これまで農林業主体の本市のインフラ整備を担い、基幹産業でもあった建設業の多くが国の施策により建設予算の削減で廃業を余儀なくされている現状にある。建設者が経営の危機のまっただ中にあることはいまでもなく地域経済と雇用に大きな影を落としている。</p> <p>本市としては、乏しい財政で建設事業を増やすことにも限界がある。建設業者の仕事を増やし雇用拡大につなげる手立てなどどのような努力や工夫をしてきたのか。</p> <p>これからどんな手を打っていく考えか伺いたい。</p>	市長	

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち8枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	16番 鶴木 誠 議員	30分	1 入札結果の公表について	入札結果の議員への公表は出来ないのか。議会の議決に付すべき契約は、予定価格において1億5千万円以上の工事又は製造、財産の取得及び処分については2千万円以上となっている。公共工事は減少するものの土木関係は各地域で大小行われているが、各工事は金額的にも業者も調査しないと分からない。各定例会ごとに入札結果を作成して議員に配布できないか。	市長	
			2 県道菱刈・横川線の改良に対する本市の働きかけについて	県道菱刈・横川線に関し、改良の取り組みは進めているのか。伊佐を取りまく幹線道路の整備は、各路線市町と期成会を作り協力し合って整備の要望を出している。平成19年合併直前に菱刈町から大口市、湧水町、霧島市において県道菱刈・横川線の改良について県に要望しているがその後の状況について伺いたい。	市長	
			3 企業誘致について	企業誘致について伺う。厳しい企業誘致環境の中、あらゆる方策を考え、今回は地場産業、既存企業の業種転換まで踏み込んだ条例を整備されたことは評価する。今後の戦略と県下でも先進な条件を作った意図について伺いたい。この様な見直しをした背景には進出、あるいは起業、転換の見込みがあるのか。	市長	

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち9枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	17番 中村 周二議員	30分	1 行政財産の使用許可について	鹿児島県猟友会伊佐支部及び伊佐銃砲保安協会からの申請に基づき、大口庁舎の1室の使用を許可しているが、鳥獣係との連携を考え、菱刈庁舎に移す考えはないか。	市長	
			2 合併後の職員の給料について	対等合併し、職員は全員伊佐市の職員となった。給料の差をどのように調整していくのか。	市長	
			3 伊佐市の観光振興、特産の推進について	伊佐市には、観光特産協会があり、また活性化協議会も同じような活動をしている。これらの団体の一本化を促し、観光の振興、特産品の開発に力を入れる考えはないか。	市長	

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち10枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	9番 沖田 義一議員	30分	1 口蹄疫について	1 伊佐市で口蹄疫が発生したときの初動体制について 2 埋却地の確保について 3 建設用重機の確保について 4 今回はワクチンを使用した家畜も全頭殺処分したが、早期使用し殺処分頭数を減らすことについて 5 今回生産者の「侵入防止対策」を見ると、それぞれにおいて認識の差を感じた。生産者自らが「病原菌の侵入対策」を高める努力が必要だが 6 市民、団体等から口蹄疫に対し、励ましの言葉や義損金をいただいたがどのような形で役立てられたのか。	市長	
			2 複式学級について	1 複式学級については、保護者教育関係者等から賛否両論あるがどう考えているか。 2 児童（教えられる側）、先生（教える側）の負担について 3 文部科学省は30人学級の実施を計画しているが、複式学級との関連、整合性について	教育長	

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち11枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	4番 前田 和文議員	40分	1 子宮頸がん予防ワクチン接種について	1 厚労省の予算要求の動きをどのように把握しているか。 2 伊佐市としてどのように取り組むのか。 3 ワクチン接種に向けた啓発活動を行う際に、市民・保護者等に考慮すべき課題をどのように考えているか。 4 教育委員会として、ワクチン接種について配慮の行き届いた性教育が必要と考えるが伊佐市の性教育の現状と今後の取り組みについて質したい	市長 教育長	関係課長
			2 地方自治法第179条（専決処分）について	1 地方自治法第179条をどのように解釈しているのか。 2 当市執行部最高責任者として、どのように運用を図るべきと考えているか。	市長	関係課長
			3 学校施設の管理について	1 耐震計画に基づき、学校施設の調査、設計、工事を行なっていくかと思うが、統廃合との関連では、保護者会、PTA連合会等との話し合い、検討は十分なされているのか。	教育長	関係課長

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち12枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	11番 左近充 議員	30分	1 麴用米の栽培について	1 今後、面積の見通しについて 2 価格について	市長	
			2 大豆の栽培について	1 転作品目として、伸ばしていけるのか。 2 反収・価格について	市長	
			3 米粉工場の建設について	チャレンジ基金の活用で、米粉工場の建設を考えるべきではないか。	市長	

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち13枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	14番 市来 弘行議員	40分	1 市内地域公共交通の整備と今後について	<p>合併し、早や1年と9カ月が経過した。最近地域を歩いてみると高齢者の生活の足とも言える市民バス（旧町民バス）や、バス路線廃止代替の今後について、どうなるのですかという声をよく聞く。現在の取り組み状況について確認をしておきたい。</p> <p>1 平成19年2月に開催された第6回合併協議会の中で、地方バス路線の維持及び町民バスについては、地域振興・活性化のため、また地域住民の利便性を考え、合併後2年を目途にその方法や手段・規模等について再編していくとの協定がなされている。現在までの取り組み、進捗状況についてお聞きしたい。</p> <p>2 また、その基本となる考え方は、どのようなものなのか。考えが固まっているとすれば、それも合わせてお聞きしたい。</p> <p>3 この地域公共交通の整備については、全国の各自治体が競う形で努力を重ねている。先進地域へ職員が出向き、そのノウハウ等を取得することはきわめて大切であると考えている。現在まで、どのような所を見てこられたのか。また、最も参考となったことはどのような点か。</p> <p>4 今後に向けてのスケジュール等について、どのように考えておられるのか。</p>	市長	関係課長

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち14枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
14	3番 久保 教仁議員	30分	1 新設・給食センターについて	1 伊佐市学校給食センターの建設進捗状況は 2 23年度の調理員等の人数は 3 食材（農産物）納入業者の選定手続きは 4 食材（農産物）入札はどのような方法を考えているか 5 伊佐市学校給食センター基本方針の食育の推進とは、具体的にどのような取り組みか 6 伊佐市学校給食センター基本方針の米飯給食の充実・地元農産物の活用をどう進めるか	市長 教育長	
			2 川内川・下名樋門に遊水池は考えられないか	1 下名樋門手前の河川は市管理となっている。ここに寄洲が溜まり草木が自生し、下名地区水田の冠水の一因となっている。草木を伐採し、寄洲除去で遊水池ができる。内水面对策の一環として検討できないか。	市長	

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち15枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
15	12番 柿木原榮一議員	40分	1 伊佐市汚泥再生センターの整備及び生活排水処理の課題について	<p>平成22年5月28日に現状、新施設建設の必要性、用地選定、年度計画等について説明がありましたが、現施設処理能力の64k1/日をオーバーしていますが、平成30年度新施設稼働後について、より良好な放流水が確保できるか聞きたい。</p> <p>1 平成30年度以降の伊佐市の各農集排、単独及び合併浄化槽汚泥、し尿の量を推定され、どのような処理能力のものを選定されるのか。また、推計総建設費、この建設の後年の実質公債費比率、将来負担比率の見通しは。伊佐市財政に及ぼす影響は。</p> <p>2 循環型社会形成のため、生ゴミ等の有機性廃棄物も含めた再生利用を推進されるとのことだが、持ち込まれる原水の平均 pH・BODの数値をいくりに仮定しているか。また、有機性廃棄物に重金属等が混入しているときは、別の処理をしなければならないがどうするのか。</p> <p>3 持ち込まれる生し尿、単独及び合併処理汚泥、農集排汚泥、有機廃棄物の平均BODとBOD除去率の見通しはどうか。</p> <p>4 施設の1年の維持管理費はどうか。</p> <p>5 候補地の処理施設の環境影響評価の有無と河川の水質と生態系の生物「動物・植物」、騒音調査等はどこまで事前にやられるのか。</p> <p>6 関係自治会との協議は当然だが、稚鮎の育成の川内川上流漁業組合との打ち合わせについてはどうか。</p> <p>7 伊佐市の污水衛生処理率はどうか。2030年にはどのくらいになるのか。</p> <p>8 現状では、簡易水洗で污水濃度は薄く、し尿及び浄化槽汚泥の搬入量は多くなるが、人口減少、高齢化率が進展すると推測されるのか。</p> <p>9 建設の候補地は保護林、風致地区とか特別な規制はないのか。</p>	市長	

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち16枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
			2 伊佐市慰霊塔の建設について	<p>1 今の日本、現在の我々があるのも、戦没者の方々の犠牲のお陰であります。合併協議会で棚上げされた課題であります。合併前の大口と菱刈にそれぞれ慰霊碑、慰霊塔があります。8月15日に第2回伊佐市戦没者追悼式が伊佐市文化会館で挙行されました。遺族遺児代表の方の語りには、皆様感動されたと思います。昨年、遺族会は伊佐市で統一されましたが、合祀して伊佐市の慰霊碑の建立は出来ないものか。</p> <p>旧大口市は昭和の合併後の昭和33年11月15日、大口市長森田盛之助氏の時、旧菱刈町は昭和61年慰霊塔として菱刈町長久保敬氏、菱刈農協長轟木高輝氏、菱刈町遺族会の原口くみ氏が建設委員長で、慰霊碑の字は正面は当時の自民党副総裁二階堂進氏、裏面の字は内閣総理大臣岸信介氏で建立されたものであります。戊辰戦争以来の戦没者を祀っておられるが、合祀して伊佐市の慰霊碑について市長はどう感じていますか。</p> <p>2 旧大口の慰霊碑は古くなり、屋根は中央が欠けて建屋も戦没者の霊を祀るには、これでよいのかと思います。正面からの階段前は、雨で3～5cm深さで階段下より約2mぐらいの水が溜まり、水はけが悪く参拝するのに不自由でしたが、排水等の工事は出来ないものか。</p> <p>3 旧菱刈町の慰霊塔には、「世とともに語り伝えて国のため、命をすてし人のいさお」と掘りこんであります。合祀ができないものであれば、以前旧大口市時代は、11月に慰霊祭をやっていましたが、菱刈の慰霊碑前でも戦争はやらない平和の維持のアピールができないものか。</p>	市長	

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち17枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
16	19番 山下 親志議員	30分	1 福祉対策（老人給食等）について	<p>本市は少子高齢化が顕著で、人口は年々減少する中、高齢者の占める割合は34.9%に達しております。現在、全国で100歳以上の所在確認調査が始まり、進むにつれ不明高齢者の数は増え続けております。国も高齢世帯支援に向けて、24時間地域巡回、随時訪問サービスや高齢単身、夫婦のみ世帯等の生活支援を介護保険改革の柱にすると表明をしております。</p> <p>伊佐市でも、さらなる福祉対策の充実を図るべきと思うが、市長の見解を伺う。</p>	市長	

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち18枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
17	10番 鶴田 公紀議員	40分	1 移住体験住宅関連事項について	1 体験住宅設置後の利用者家族数及び人数の4月から8月までの月ごとの実績と今後の予約状況について 2 移住体験住宅の設置及び管理に関する規則の第7条（使用料）とあるが、6月議会では「貸付賃借料」と答弁されているが、どちらが正確なのか。 3 使用料の額は、公有財産台帳に記載されていると思うので、その算定基礎を示してほしい。 4 定住促進の利活用後の対応（処分等）は。又、住宅の耐用年数は。 5 移住体験住宅の見学会の状況は（市内、市外の見学者数） 6 体験入居者へのサポート及びアドバイス体制は。	市長	
			2 陸上競技場の利用状況について	1 各種競技団体の利用状況について 2 芝の管理状況について	市長 教育長	

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち19枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
18	7番 今吉 光一議員	30分	1 学校施設の課題と維持管理	<p>1 本年度耐震補強工事が始まっているが、聞くところによると事業仕分けで当初予算が削減されたように聞かすが、今後の計画も含めて伺いたい。</p> <p>2 それぞれの学校では年に何回か保護者や地域の方々の協力で除草・草払いを中心に美化と清掃が行われている。児童生徒の減少に伴い保護者等の参加が少なくなっていることから、排水溝にたまった土砂の除去・樹木の剪定等に手が回らなくなっている状況にある。それぞれの学校の対応策と教育委員会としての支援はどうなっているか。</p> <p>3 数年前から学校分収林が国と契約満了になり、羽月西小学校及び大口南中学校に多額の収入があったが、権利のある学校では記念イベントとして使ったり、公共性の高い施設の維持管理費として有効利用できるが、それぞれにお金の落とし所や管理者がはっきりしない。当時の経緯から察するに任意の団体や個人との契約は国として出来なかったことから契約者は市長だったのではないか。当時山林の管理は保護者が中心となっていたことから、立木の収入は羽月西小学校の対応が正しかったと考えるが、大口南中学校では当時の先生に管理を任せられ、わずか1年で300万円余りを使っている。購入した備品は教育委員会のものでなく、PTAの管理としているがどうか。また今後市内数校の学校林も契約満了となるようだが、詳細について何うともにお金の管理者は誰になるのか。</p> <p>4 大口南中学校は本年度事業で公共用水に切り替える予算を措置し、すでに工事が始まっているが、経過と計画について伺いたい。またこれまで使ってきた水源についてどのような利用を考えているのか。たとえば付近には田畑があり、降雨の少ない時期には苦労しているとも聞かすが農家との話し合い合意の上で配水出来ないものか。</p>	市長 教育長	

平成22年第3回定例会一般質問

平成22年9月14日・15日・16日

(20枚のうち20枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
			2 小・中・高の将来を見据えた各学校の在り方	<p>1 4年前、「市立小・中学校再編等協議会」を設置し答申されたが、8月31日付の南日本新聞でその経過について掲載されていたが、協議会で示された内容について詳細に伺いたい。</p> <p>2 地域としては学校が無くなることで過疎化に拍車がかかるというのは当然だと思う。どの中学校も毎年生徒の数が減少し専門性をもった教師の配属が難しくなること、部活動の存続や生徒間の協調性も薄れるということ等が課題となっている。地域の活性化と学校の統廃合は相反するものがあり、デリケートな問題でもある。地域によっては保護者や地域住民の意志で学校の統廃合に取り組んでいるところもあるようだが、本市もこのままでいいとは思わない。市長の見解を伺う。</p> <p>3 高校の再編問題も地域にとって注視すべき事であるが、来年度より通学区が改正され、生徒にとって進学しようとする学校の選択が広がることになる。通学や入寮の問題はあるが県教委としても生徒数の減に伴う対応だと思うが志願倍率も毎年まならない状況下では保護者や地域の声を十分に聞いたうえで将来のあるべき姿をどうするのか、検討する時期に来ていると思うが、実直な意見を伺いたい。</p>	市長 教育長	
			3 特別支援学級が抱えている課題と対応	<p>1 市内10校12学級に設置されているが、各学校で指導方法や理解に温度差があり、問題を抱えている生徒や保護者がいると聞いている。教育委員会による実態把握や学校への指導・支援、関係機関との連携はとれているか。</p> <p>2 特別支援学級担任や支援員に対して適切な研修等を行っているのか。また、問題が起きた時の相談窓口がなく困っていると聞くが、今度できる子育て支援センターがその機能を持つと言われているが、どのようなになっているのか。</p>	市長 教育長	